

平成29年度 学校自己評価のまとめ

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

夫 ③授業中の話し方 ④学習展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着」について、生徒がそれぞれの立場からみて日常の授業評価をしました。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザイン(以下GD)に示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていかうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

協働的な学びを位置づけ、基礎基本の確実な定着を図る

1 学びづくり

⇒ 智を交換し合う必然性の高い課題によって協働的な学びを促す

2 生活づくり

⇒ 「プライト'ファイブ」を生徒ともに徹底し安定した生活を構築する

II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約53%(昨年度約52%)でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートについては選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました(生徒、教職員アンケートは4段階)。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

III 結果と考察 (GDに示した検証方法に沿って)

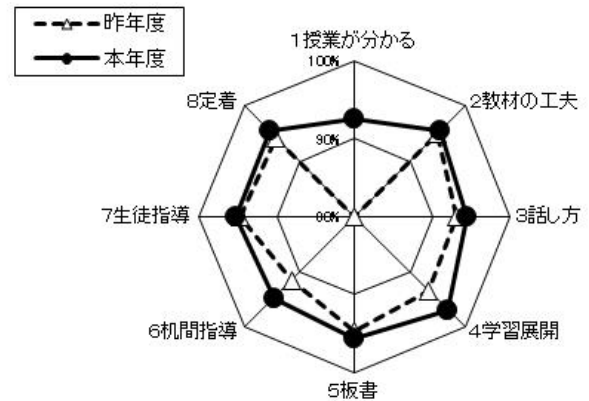
1 「学びづくり」について

【A】授業評価アンケートでの肯定率を生徒用①で90%以上、保護者用③で65%以上、にかかわって

(1) 内部評価(生徒)

生徒を対象に授業に対するアンケートをとりました。今年度から「①授業が分かるか」の項目を追加し「②教材の工

H29 生徒による授業評価

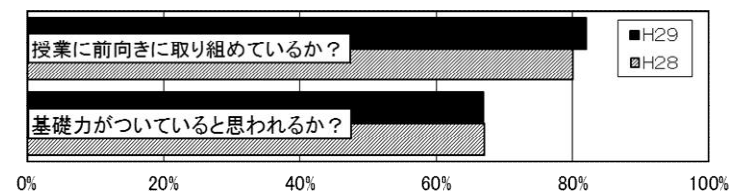


新設項目である①「授業が分かる」を含めて全ての項目での肯定率が90%を超え、②～⑦の全ての項目で昨年度よりも肯定率が上昇するといった結果が得られました。『つばさタイム』『水SP』等の自学の時間が定着し、生徒の学習への取り組み姿勢が一つの背景となりそうです。そして、本年度の学力向上テーマや全校研究テーマで掲げた「協働的な学び」を志向した授業改善が生徒たちにも評価されたと考えます。「わかりやすく説明して欲しい」「テスト対策をして欲しい」など、きちんと教えてもらいたいという生徒の声にも応えられるよう、今後も指導力の向上を目指していきます。

(2) 外部評価(保護者)

保護者のみなさまからは、『学習に対する前向きな取り組み』について82%の方に(昨年度81%)、『力のつく授業』について67%の方に(昨年度同様)、肯定的に見て頂いています。保護者の皆様からの評価でも、設定目標値を上回る評価を頂くことができました。

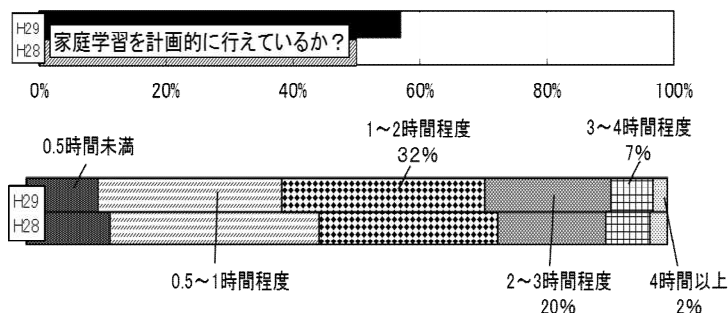
〈授業・学習についてのグラフ〉



【B】家庭学習時間 1 時間以上を、保護者アンケートで60%以上、にかかわって

『家庭学習を計画的に取り組んでいる』とする保護者のみなさまは昨年度の50%から57%に向上しました。そして、家庭学習時間の内訳を見ると、1時間以上が61%(昨年度55%)に増加するという結果でした。更に、2時間以上の生徒が29%(昨年27%)となるなど、家庭学習についての指導も浸透してきていると考えます。今後も自主的な学習姿勢を醸成して、家庭学習時間を充実させられるような手立てや家庭との連携策を構築していきたいと思ひます。

〈家庭学習について〉

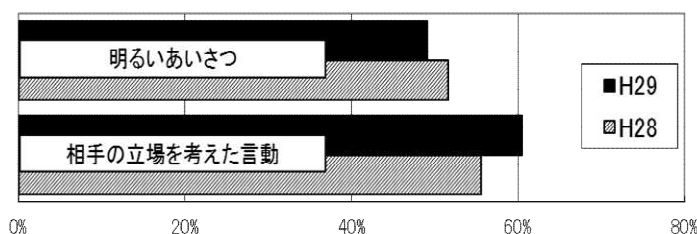


2 「生活づくり」について

【A】「明るく元気な挨拶」の肯定率が生徒用、保護者用ともに70%以上、にかかわって

(1) 内部評価(生徒)

〈学校生活についてのグラフ〉



『相手の立場や状況を考えての行動』がとれたとした生徒が61%と昨年よりも5%向上したが、『明るく元気な挨拶』については、肯定率が49%と昨年より3%低下という結果でした。重点としてきた挨拶について、生徒たちの意識として設定目標値に遠く及ばない結果となりました。学年間の差も大きいこともあり、生徒会や各学年で緊急課題として取り組みを始めています。

(2) 外部評価(保護者)

一方、保護者のみなさまのアンケート結果では、『明るく元気な挨拶』についての肯定率が68%（昨年度は62%）と設定目標に近づくことができている。アンケート結果の数値では上昇していますが、コメントには厳しいご意見も少なくなく、肯定率が70%を上回れるよう来年度も考えていきたいと思っています。

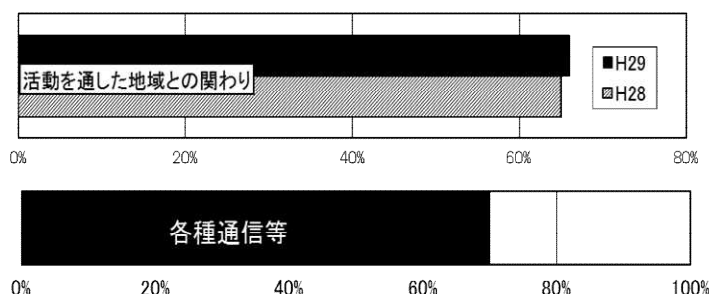
(3) 内部評価(職員)

生徒会等で挨拶を含む指導の肯定率は76%でした。挨拶は、安定した生活を構築するための指標のひとつと考え、来年度も重点としていく考えです。職員が意識を高めて具体的な指導をしていきたいと思っています。

【B】学校からの情報発信について、保護者アンケートによる肯定率60%以上、にかかわって

(1) 外部評価(保護者)

〈地域との関わりについてのグラフ〉



地域活動への関わりについては、肯定率が昨年度の65%から66%へと微増しました。また、学校からの情報発信に関して60%から70%に向上し、設定目標値を大きく上回ることができました。学校の努力が認められてきていると考えますが、「連絡のメール配信を」等のご意見にも応えられる工夫を考えていきたいと思っています。

IV 保護者の皆様から

外部評価の際に保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただきました。来年度にむけて参考にさせていただきます。

1 学びづくりについて

- 授業の中で、友達と関わって考えたり発表し合ったりするのは、よいと思います。
- 学びの喜びや知識を得る喜びを知ることが将来とつながると感じます。学びと生きていくことの関連性を生徒に伝える授業を願っています。
- なかなか自分から聞きに行けないので、放課後に勉強を教えてもらえるような場をつくって欲しい。

2 生活づくりについて

- 学校内で生徒の皆さんとすれ違うとき、とても元気な声で挨拶をしてくれるので、気持ちが良いです。これからも元気な挨拶を頑張ってください。
- 現在、校舎改築により、部活動もほかの施設をお借りしている状況。生徒たちにとって今までと違い色々不便もあるが、今こそ地域とのつながりが持て、感謝できる最高のチャンス、そんな意識をもって欲しい。
- 学年通信の下校時刻の正確性を希望します。部活動日程を月末ぎりぎりではなく、中旬ごろの配布を希望。

3 プライドファイブについて

- 毎年、プライドファイブの日本一の応援には、本当に感動します。ぜひ続けてほしいと思います。
- 下駄箱の靴がきれいに整頓されていて気持ちがいいです。つばさ祭の合唱は素晴らしく、感動しました。
- とてもよい取り組みだと思います。行事の際には力が入り意識して行動できますが、普段何もない日常でも意識できないと本物ではないと思います。先輩からの伝統なので、しっかりと受け継いでいって欲しい。

4 部活動について

- 毎日、夕方暗くなるまで部活動に励み、勉強も頑張っていると思います。
- 先生方には、子どもたちのために熱心なご指導ありがとうございます。今後ともよろしく願い致します。
- 部活動で、親のやるが多すぎる。送迎、お茶当番は必要ないと思う。必要最低限にして欲しい。

5 その他

- 教育目標を決めることで、子どもたちも学校内外での生活を意識して取り組んでいると思います。
- 去年に比べると、自転車通学のマナーが悪い。通学路でない道を通っている。安全な通学をしてほしいと思いますので、ご指導よろしくお願い致します。
- 「保護者も子どもたちを見習って挨拶しようよ。参観日のたびに西友さんはじめ地域に迷惑をかけるのやめようよ。」と思います。声はかけているのですが。